



2017年  
平成29年1月号

編集・発行  
(一財)徳島県婦人団体連合会  
〒770-8648 徳島市富田浜一丁目16番地  
徳島銀行 西別館 2階  
TEL 088-622-9639 FAX 088-622-9667  
e-mail: fujinkai-tokushima@sepia.plala.or.jp

## 新年のごあいさつ

一般財団法人徳島県婦人団体連合会

会長 藤田 育美



明けましておめでとうございます。

日頃は、県婦連の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年度から引き続き「健康第一、ハートにタッチ、ドリームキャッチ」を合言葉に婦人会活動の柱である3つの活動に取り組んでまいりたいと思います。

「婦人会活動」としては、9月に「第36回高齢社会をよくする女性の会全国大会 IN とくしま」を開催いたしますので、是非ご協力、ご参加くださればと思っております。本会は「高齢者が頑張る輝くまちづくり」をテーマとし、基調講演には女優で作家のうつみ宮土理様をお迎えし、性別年代を問わず、楽しく学びのある会にしたいと考えております。

次に「日赤奉仕団活動」としては開設130周年を迎えられます日本赤十字社徳島県支部様の記念行事への協力と3つ目の柱である「結核予防活動」については「禁煙運動」の推進に取り組んでまいりたいと思います。

本年は、県婦連の活動を広く全国に周知できる飛躍の年となりそうです。県婦連から全国に向けて阿波女の素晴らしさを発信しようではありませんか！

## 北方領土ビザなし訪問

### 国後・択捉島を訪問して

徳島県婦人団体連合会 理事 石本 知恵子

9月16日、曇り、気温13度「えとぴりか号」から国後島のチャチャ岳がみえてきました。近くて遠い北方領土、先人達が歴史の現実を見つめ、今なお北方領土問題の解決を含む日露の平和条約締結問題解決のための環境整備を目的として、北方四島在住のロシア人との相互理解を促進するために実施している交流事業に初めて参加しました。今回、日本文化の紹介として陶芸教室のお手伝いをしましたが、驚いたことにロシアの子ども達の物怖じしない姿、屈託のない笑顔に私も言葉の壁をこえて、身振り手振り片言の「スパシーバ」（ありがとう）でとても暖かい空気感です。このような経験をもっと多くの方々にしていただきたいと思いました。





# 新春 SPECIAL 対談

衆議院議員 後藤田正純



一般財団法人  
徳島県婦人団体連合会  
会長 藤田 育美



藤田育美（以下F）今日はお忙しい中、私たち婦人会のためにお時間を割いていただき、本当にありがとうございます。

後藤田正純（以下G）こちらこそありがとうございます。

F：早速ですが、先生は今自由民主党副幹事長として活躍なさっていると聞いております。その中で今から日本をどのようにしていくか、大きな視点で聞かせて頂けますか？

G：今おかげ様で安倍政権も、自民党も安定しているようですが、そうはいっても常に挑戦していかないと守るものも守れないというのが私の考えでして、「保守」というのは「保身」ではなくて「革新」だと思っています。安定すると「保身」になる傾向にあるんですね。ですからそういう意味では党内で嫌われようが、何しようが、挑戦していくこと、チャレンジしていくことをずっとずっと言い続けています。日本では過去の先人のご苦労があったこと…、富なり、国なり、これをただ食いつぶしているような気がしてるんです。戦後の方々が我慢をしながら、一方で挑戦したという、これを今まさにやらないと、日本がこれから持続可能であり、より豊かになり、より平和な国を若い人たちに引き継げないと思っています。そういうビジョンのもとに、常に挑戦していこうというのが、私のビジョンです。その中のミッション、使命として、安定政権とはいえ党内で言うべきことは言っていこうと、今では非主流派ともいわれている、石破グループにおられますけど、常に僕の政治家人生において、党内野党的なことを発信してきたし、いろいろな団体に臆せず言ってきたつもりです。ただそれは国民全体、業界の持続可能性を思うがゆえに言ってることであって、国にしても地方にしても、いろいろな団体で守ってしまったらいけないし、自分の損得で行動してはいけない、やっぱり国民、県民、市民、その消費者、利用者にとって「いい」か「悪い」か、「善」か「悪」かで判断をするというのが私の方針です。それはずっとぶれずにきたつもりです。持続可能でより平和でより豊かな国の為、自分の損得でなく、国・国民にとっていいか、悪いか、「善」か「悪」か、こういうことで果敢に挑戦していきたいと思っています。

F：今、一番力を入れていることはなんですか？

G：今は成長戦略、もっといって産業の構造改革ですね。非常に漠然としたことになるかもしれませんが、今までの先人たちのご苦労のもとで成り立っているけれども、そろそろ構造転換の時期だと思っています。そういう意味でモノづくりも大切なんですけど、これから成熟していく日本のために「コトづくり」、「コト」、つまり形にないものですね。具体的に言えば「感動」、「刺激」、「体験」、こういったものをどうマネタイズするか、産業化していくかということに注力しています。もっと具体的に言えば、観光であったり、スポーツであったりそして文化、エンターテインメント、こういった世界ですね。「モノ」ではない形にはないけれども、

人々が熱狂する、感動する、こういうことだと思います。成熟国家には必要だなと思っていますが、なかなかそれが形に見えないものですから、政治の世界でも企業の世界でもそれにキャッチアップする人がいないので、それをもっとリードしていきたいです。

F：それでは自民党の徳島県連会長にもなられたんですけども、徳島県に対して、県民に対してどういうことしてあげたい、またはこういう徳島県になってほしいということについて教えてください。

G：今申し上げた国のビジョンというか、あるべき方向性は一緒なんですけど、徳島もこのままいくと、私は縮小均衡になってしまうと思っています。先人たちの努力だとか、今ある産業のもとに成り立っていますが、新たな挑戦をしなければ、私はとんでもないことになると思っています。徳島駅前再開発だとか、市長選であったような西新町だとか、こういう各論も大事なんですけど、やはりどういう街にするんですかと、どういう徳島県にするんですかと。それはさっき言ったような日亜化学・大塚製薬をはじめとした「モノづくり」ももちろん大事だけれども、+α（プラスアルファ）「コト」、観光だとか、スポーツアリーナ、スタジアムを作って熱狂できる、最近では北海道日本ハムも広島カープもそうですよね。なにかその自分の「徳島だ」「北海道だ」という、熱狂というか、愛郷心は大事だと思うので、こういった「コト」に挑戦してもらいたい、知事や市町村長には。ただ今の現状を見てみると、消費者庁も大事ですけど、消費者庁も数十人来てすぐ終わるすねとか、市内でもそごうが撤退するんじゃないかという話もあったり、阿波踊り一つとてども、体験・観光をおもてなしするんだけれども、じゃあその課題はないのかと、問題があったらすぐに変えなきゃいけない、これは経営でも一緒じゃないかと思いますが、そこでチャレンジしなかったら、どんどんお客さんが減っていくことになってはいけないので、徳島県においてもチャレンジですね。挑戦して、他にできないオンリーワンのビジョンを街にも掲げているけれども、その具体案ができていないのかなという気がしています。

F：先生のビジョンをある会で初めて聞いた時、新幹線を四国に、西の丸があったところにスタジアムを作る、これは夢のような話だと聞いたんですけど、これは現実化するんじゃないかと私は今思っています。

G：ありがとうございます。したいですね。鳴門に橋を架ける時、1941（大正3）年当時の徳島県選出代議士・中川虎之助氏が「私は本州と四国に橋をかける」ということを帝国議会で言ったんですよ。するとみんな国会議員に嘲笑されたんです。そしたらなんと言ったかという、「諸君の目は豆のごとし」って言い返したんですよ。それが今現実として橋ができてますよね。だから政治家というのは、みんなが「えっ!!」と思うようなビジョンが必要ですね。

F：私もえっと思いましたけど、これってひょっとしたら現実化するんじゃないのかなと思いましたよ。私が元氣なうちにできるかどうかはわかりませんが、挑戦するという点では非常に応援したいと思います。

G：ありがとうございます。

F：この機会を借りまして、私たち婦人会の活動についてご説明したいと思います。  
婦人会は国防婦人会から始まり、今年で私の年齢と同じ68年の歴史があります。今は「婦人会」「結核予防婦人会」「日赤奉仕団」という3つの活動を柱に活動しています。婦人会活動については三世代交流芸能大会、私の時代から子どもも男の人みんな加わってもらって、31回が終わりました。もう一つは調査研究発表会と活動発表会というのを毎年やらせていただいています。近頃一番大きいのは、エネルギーの万人調査を行って、県からも国へも発信をさせて頂きました。と同時に先生と一緒に行けたらよかったと思った北方領土返還運動についても、違う切り口で私が発表したら、こんな発表もあるんだなと言ってくれました。エトピリカに一人行ったらいくらかかるのか、費用がかかっているなら、行っただけではいけない、こういうことをしたという報告をしなくてはいけないと思、報告会を10回ほどさせて頂きました。今も継続中です。それと戦争体験を語り継ぐ会も31年間続けさせていただいています。結核予防については、世界中から結核をなくそうと、地道に複十字シール運動を続けていますし、たばこの禁煙運動にとりくんでいます。たばこ白書が発表になりまして副流煙ががんに悪いと言われてますので、これは私のライフワークとしてやり遂げたいなと思っています。

G：僕なんかも地元でまわっていると、すごく頭が下がるのは敬老会とかの式次段取りやられていますよね。これって日本独自のものなんですよ。アメリカではAARPという組織が3000万人ぐらい、大統領選挙も占うといわれて、つまり、60～70歳の人が80～90歳の人の面倒を見ていくという、互助システム、自立・自発的な互助システムで、それが一つの企業というか、団体になったんです。保険会社みたいな。僕は藤田会長のようなキレのいい人が、経営者で、婦人会が全国で保険をやったらいいと思います。

F：婦人会は社会教育団体なので、これからも社会貢献を主に活動をしていきたいと考えています。

G：頭が下がります。政治や行政の立場にいる我々としても。

F：最後に、来年度「高齢社会をよくする女性の会」全国大会を引き受けました。これは樋口恵子さんが理事長を務めていらっしゃいます。来年で36回を数え、35年前にこういう会をしようとした樋口さんはじめ周りの人の行動が素晴らしいと感じ、武久洋三先生と一緒に活動に取り組んでいます。

G：武久洋三先生と！それはすごいコンビですね。

F：来年の9月2日・3日にアスティとくしまでします。市町村や社協をまわりまして、みんなで盛り上げていこうと考えています。ぜひ先生もご参加ください。

G：みんなで阿波踊り体操しましょう、2500人で。壮観ですよ。

F：今いろいろな企画を考えており、アスティでパーティーも考えています。コンベンションビューローでやらせていただいて、市町村には参加する人の送迎などをお願いしています。また四国大学にもご協力いただき、学長さんには婦人会の顧問にもなっていました。大学生、高校生、子ども達にもみんな交えて、女性の会だけでなく、男性も交えた会にしたいです。今、高年齢者が頑張る街づくり、元氣な街づくりをテーマとしてやりたいと思っています。

徳島県からいろんな発信をしたいと思っています。

G：それこそAARPの専門家を呼んで、アメリカではこうなっていて、こういう活動があるということを知ったら、みんなモチベーションが上がっていると思いますよ。

F：またチャンスがありましたら、いろいろお話しさせてください。  
また、廃校になった小学校の楽器を使い、美馬市婦人会65名で鼓笛隊を結成してやっております。一番難しい楽器がカスタネットということをお話ししました。私なんにもできないのよという人にも参加できると言って、芸能大会で披露しました。また着物を全部リメイクしてユニフォームにしたりして、活動を続けています。高校生とか大学生とか、小学生とかが歌を歌ったりして、そういうのを大会のオープニングにできないかと考えています。

G：さすが挑戦していらしてますよね。普通に今まで通りというのではなくて、常に挑戦している姿に尊敬しています。

F：ありがとうございます。先生とご一緒だと勇気が出ますね。これからもがんばってみます。

G：がんばりましょう！！

F：今後もよろしくお祈りします。今日は本当にありがとうございました。

G：今日は本当に光栄です。ありがとうございました。



AARP…「American Association of Retired Persons」  
(全米退職者協会)



# 第64回 全国地域婦人団体研究大会 IN 埼玉県

## 全国大会に参加して

徳島県婦人団体連合会 副会長 紅露 清恵

10月20・21日、埼玉県さいたま市大宮ソニックシティで、第64回全国地域婦人団体研究大会が2500人あまりの会員が参集して開催されました。藤田会長はじめ12名が参加しました。テーマは「あつまろう！育てよう！～未来にはばたく婦人会の輪～」1日目は、5つの分科会で熱心な討議と懇親会。2日目は、昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞された北里大学特別栄誉教授大村智博士の「私の半生を振り返って ー研究と美術と社会貢献ー」と題した記念講演がありました。

### 【1日目】

#### 第1分科会 「消費者問題」 弁護士 池本 誠司氏

地域連携で消費者被害を防ごうと「被害に遭わない」から「学び・伝える」へ身近なトラブルの現状を紹介し、地域で消費者被害を防ぐ活動をして欲しいと話されました。

#### 第2分科会 「男女共同参画の視点からの防災」 もりのおか女性センター センター長 平賀 敬子氏

「東日本大震災後の支援活動を通して見えてきたもの」災害時に女性たちが男性に頼ってしまった経験をもとに、普段から男女の区別なく「自分のことはじぶんで」そして男女の役割を見直そうとの内容でした。

#### 第3分科会 「子育て支援」「男女共同参画のほんとうのハードルと乗り越え方」 経済評論家 勝間 和代氏

女性は水晶体（目の）が4つ、男性は3つ、男性は5色が定番・女性は30色以上、見えるものかんじるもの幼稚園時代から違いが出ているからわかり合えないことが多い。怒らず、妬まず、愚痴らず、一人一人が地道にできる範囲で進めていくことが大切だと話されました。

「効果的な少子化に向けて～埼玉県の現状と今後～」 埼玉県福祉少子政策課課長 今泉 愛氏  
埼玉県の少子化対策、検討案についての内容でした。

#### 第4分科会 「食」健康食品の安全性について ー健康食品の安全性を考え直そうー 内閣府食品安全委員会前事務局長 姫田 尚氏

現在の日本のように食事ができる国では、ビタミン・ミネラルのサプリメント補給は、健康にプラスの作用をもたらさないとのことでした。

#### 第5分科会 「歴史」宮沢賢治 埼玉県来訪100周年 ー秩父ジオパークー 埼玉県立自然史博物館元館長 本間 岳史氏

学校の地質調査旅行で訪れてから100年。宮沢賢治の人物像、秩父の地形の特色、未来のジオパークについて話されました。

### 【2日目】

#### 記念講演 「私の半生を振り返って ー研究と美術と社会貢献ー」 北里大学特別栄誉教授 ノーベル生理学・医学賞（2015）受賞 大村 智 博士

小学生時代は、10分で帰れるところを1時間以上かかって寄り道をして帰った。友達と遊んだり山の中へ入っていったり自然に親しんだ。

高校時代から理科が好きになって、大学では微生物が作り出す物質の豊かさに気づくことができた。共同研究はお互いに理解し、尊敬し合ってやっていくチームワークが重要。新しいことをやると失敗することが多い。失敗を恐れては新しいことはできない。今の失敗を覚えておいて、また、やってみる意味のない失敗はない。人まねはその人を超えられない。

子どもたちに対して、「教師の資格は自分自身が絶えず進歩していること。いつも人々との出会いを大切に、相手の立場でものが考えられるような習慣をつけること。応援してくれる人は必ずいる。さまざまな人との出会いに感謝している。これからの日本に大切なことは、子ども達の育成であると話されました。大変意義深い講演でした。



## 第1分科会「消費者問題」に参加して

（一財）徳島県婦人団体連合会 常務理事 南 智子

「地域連携で消費者被害を防ごう“被害に遭わない”から“学び・伝える”へ」というテーマで講師は弁護士でもあり、長年にわたり消費者被害をなくすことにご尽力をされてこられた池本誠司先生でした。現在、私たちの身近にはかつてないほどに巧妙な詐欺商法・悪質商法が蔓延しています。国や自治体の消費者行政は悪質業者の取締りと消費者への啓発を行っていますが、被害は一向に減りません。そこで、特に被害の大きい高齢者の見守りサポーターの養成や地域と行政が連携し情報発信や啓発をすること、何より効果的なのが地域の住民同士の交流を活発にすることに力を注ぐことが大切であるという内容でした。

時代が無機質になりつつある今、やはり安全で安心なくらしを守るには、人と人の心のつながりがいちばんなのだと再認識しました。



## いやしの里 増川

東みよし町増川婦人会 会長 石田 三千代

吉野川ハイウェイオアシスを西へ3km余り進み、県道12号線を北へ15分ほど入った所が増川地区です。春には山桜、初夏には増川谷を飛び交うホタル、秋には山々の紅葉と四季折々の美しさに囲まれています。

平成12年に過疎化の進む地域の活性化を図ろうと、地域住民で廃校となっていた増川小学校を、宿泊ができ、そば・うどん打ち体験や農林業体験ができるいやしの里「増川笑楽耕」として復活させました。毎年6月には「ホタル祭り」を行っており、今年で17回目を迎えました。また、11月には「もみじ祭り」を開催し、木々の紅葉を楽しみながら町指定天然記念物「しだれもみじ」のある場所までウォーキングをします。お祭りには町内外の多くの皆様が賑わい、私達もたくさんの団子やそば、コンニャクなどを作り販売します。皆様の嬉しそうな顔を見られるのがとても楽しみです。



## 美馬市文化祭

美馬市連合婦人会 理事 森中 順子

美馬市のスローガン「伝えよう 育てよう 創ろう まほろばの輝き 文化の祭典」第12回美馬市文化祭が11月3日～11月5日の3日間ひらかれました。私たち美馬市連合婦人も芸術作品等々の展示に参加させていただきました。その中で、連合婦人会はぬり絵をそれぞれの地域で出展し、自分の好きな色や画材を使って美しく仕上げておりました。美しい花々のぬり絵を細かく自由に彩色しており、重厚感のある作品に感動しました。他にも、生け花、手工芸品、絵画も多数展示して私達的美馬市は輝いていました。



医療法人 三輝会

# 稲山病院

理事長 稲山 三治  
院長 稲山 治

徳島市南田宮4丁目3番9号(城北高校前)

☎(088)631-1515

医療法人 三輝会

# 徳島検診クリニック

院長 大野 久美

人間ドック専門施設

徳島市南田宮4丁目8-56

☎(088)632-9111



## 加羅宇多姫物語 (からうたひめものがたり)

三好市西祖谷山村婦人会 山田 京子

西祖谷山村吾橋地区の婦人会員による平家伝説の創作劇「加羅宇多姫物語」を紹介し、地域の「古宮神社」には、元弘の乱に敗れ、土佐に流された親王に会いたいと都から祖谷まで来た身重の姫が、願い叶わずこの地で亡くなられ葬られたとの伝説があります。

私たち婦人会員は、この伝説を劇にして後世に語り継いでいくことにしました。会員の特技を生かし、台本作りから出演者はもちろん、大道具、小道具、衣装などすべて手作りです。何とか形になったのが4年前。以来、毎年行われている「古宮祭り」に野外劇として出演したり、市内の様々なイベントにも参加したりして皆さんに喜んでいただいています。

山奥の小さな村に住んでいる私たちの想いを皆様にお伝えしたいとがんばっています。「祖谷のかずら橋」観光を兼ねて吾橋にもぜひお越しください。



## 皆が集う向麻山 (このやま)

吉野川市牛島婦人会 会長 友成 由美

「向麻山あけくれに我等の望み高からしむ」

小学校の子供達が、声高らかに歌い続けている校歌。

吉野川市の一番東の端に位置する標高 92mの小高い山は、地元の誇りとされています。山裾には公園があり、立派な遊具も設置され、休日ともなれば家族連れで賑わっています。

春は見事な桜でピンクに染まり、冬の山頂には、小学校の児童と地元有志によるイルミネーションが飾られ、国道を走る車の中までも幸せを届けてくれます。このように自慢できるのも、地域の方々によるボランティア活動で、守られているからこそだと思っております。私達牛島婦人も、春と秋のお彼岸には、山頂墓地のお掃除をさせていただいております。皆様方も是非一度、お弁当を持って、ドライブがてらお越し下さい。



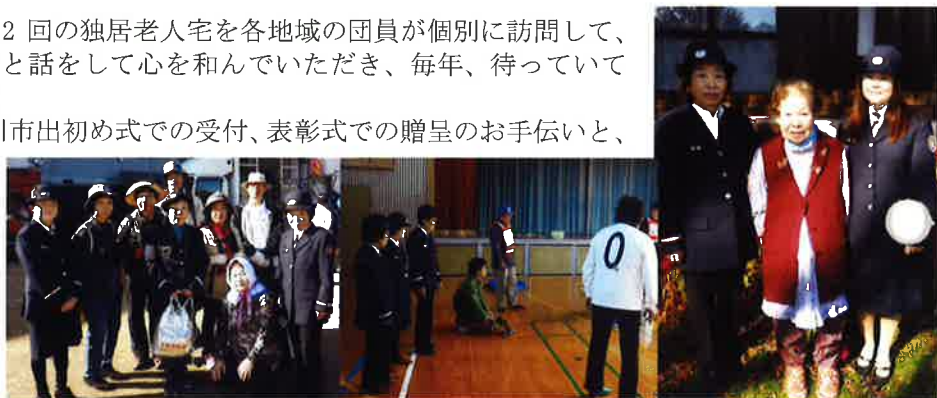
## 女性消防団員 (機能別) としての活動

吉野川市美郷種野婦人会 会長 高橋 文子

吉野川市で、5年前に初めて婦人会員の中で、女性消防団員が誕生する事になり、会員 15 名が加わりました。最初は戸惑いもあり、みんな 1 人 1 人の分担もわかりませんでした。年を増す度に慣れて、自信も着くようになっていきます。

私たち団員の活動として、年 2 回の独居老人宅を各地域の団員が個別に訪問して、少しの時間ですがお年よりの方と話をし心を和ませていただき、毎年、待っていただく方が多くなっています。

また、恒例になっている吉野川市出初め式での受付、表彰式での贈呈のお手伝いと、防災炊き出し訓練への参加と、年行事として 10 回ほどですが、美郷連合会長が団長となっていますので、婦人会活動としての輪も広がり、全員参加でき地域と共に頑張っていきたいと思っています。



# 地域活動

絶対に見捨てない。

平成医療福祉グループ  
HEISEI MEDICAL WELFARE GROUP

## 地域活動で楽しく

東みよし町昼間婦人会 会長 大谷 京子



昼間婦人会は、10 年前に三加茂町と三好町が合併し誕生した東みよし町の西部地域にあり、現在、会員数は 398 名です。主な活動は、昼間小学校のコミュニティ・スクールへの教育支援、アドプト・ア・マイロード (県道の除草や清掃)、施設慰問、敬老会、オアシスマつり掘り出し物市、会員研修旅行等です。コミュニティ・スクールでは掃除や郷土料理作り、また本年度より新たに家庭科授業の調理実習やミシン縫いを手伝い、直接、子ども達とふれあうことにより地域の子育て支援に参加しています。敬老会では、準備、式典後の祝賀会の開催等、地域のお年寄りに大変喜ばれており、年間を通じて楽しく地域活動をしています。

## 高齢者世帯への訪問サービス

阿波市阿波町婦人会 安友 ツル子

世界三大奇勝の一つ「阿波の土柱」の麓で緑豊かな自然を満喫している私達は阿波市合併前より年 2 回 75 才以上の高齢者世帯への家庭訪問サービスを実施しています。徳島県産のゆず酢を使って地元の野菜をたっぷり入れたチラシ寿司やきつね寿司、また蒸しパンを作り手芸品等も添え「詐欺被害防止」のチラシ等を必ず入れて訪問します。近所の人達が集まって談笑する事が少なくなった昨今、訪問日を心待ちにしてくれております。世間話など会話が、ませんが後ろ髪をひかれる思いで次の家へと急ぐ事になります。短い時間のお話し相手ですが少しでも「心の癒し」のお手伝いできたかなと自己満足をしているところです。高齢者の皆様の笑顔を思い浮かべながらいつまでも続けていきたいと思っております。



## 美馬市三島婦人会活動

美馬市三島婦人会 会長 谷 明美

三島婦人会の主な地域活動は、国道の清掃花壇の手入れ、三島幼稚園・小学校の収穫祭でのすいとん作り、三島会館の納涼大会でのカレー作り、独居老人配食サービス、施設訪問などです。

平成 22 年よりフォークダンスを始めました。最初は幼・小・中学校の体育祭の一種目として PTA の方々と一緒に踊っていましたが、普段も練習してはどうかということになり、今では毎週 1 回集まって世界各国のフォークダンスを習っています。カチューシャ・テネシーワルツなど綺麗な曲がたくさんあり楽しみです。

施設訪問や地域のイベントに民舞とともに参加して喜んでいただいたり、自分達の健康維持にも役立っています。



医療法人 平成博愛会  
博愛記念病院

088-669-2166  
徳島県徳島市勝占町惣田9 www.hakuai hp.jp

徳島県内病院・施設

江藤病院 / 平成アメニティ / 明和苑 / ケアホーム鷺敷  
ヴィラ勝占 / ヴィラ羽ノ浦 / ケアハウスエルベ  
グループホーム勝占 / グループホーム渭北 / グループホーム八万 / グループホーム鳴門  
平成デイサービスセンター羽ノ浦 / 鷺敷デイサービスセンター  
八万小規模多機能センター / メディケアハウス平成